ぼうさい通信 Vol.17

平成 30 年 12 月 14 日発行
熊本県立湧心館高等学校

今月のテーマは･･･「降雪･積雪･凍結」

＊＊　２０１６年１月２４日 毎日新聞より　＊＊

西日本を中心に上空に氷点下１５度以下の寒気が流れ込み九州・山口地方は２４日、各地で記録的な大雪となった。鹿児島県・奄美大島では１１５年ぶりに降雪を観測し、沖縄県の久米島で３９年ぶり、名護市で初のみぞれが観測された。除雪作業中の事故などで新潟、青森県で４人が死亡。九州・山口では重体１人を含め少なくとも約９０人が負傷した。２５日も厳しい寒さが続く見込み。

2年前の1月。そういえば大雪が降りました…みなさん覚えていますか。熊本地震があった年ですから、雪景色となった公園に、その数か月後には仮設住宅が並んだ、という町も多いのではないでしょうか。

そのときの雪景色です。➡



先日、避難訓練があった12月3日あたりは暖かかったのに、12月7日の「大雪（たいせつ）」のころから冬らしい気候となりました。雪の降ることは少ない熊本でも、道路の凍結は、歩行者、自転車、バイク、車、どの交通手段を選んでも、ケガや事故につながるおそれのある状態です。橋の上、トンネルの出入り口が凍結しやすいと言われますね。近所にそんな場所がある人は、要注意です。街なかを自転車や徒歩で移動する人も、坂道や日陰は要注意。

大事な外出の日がそんな寒い朝だったら、大変ですね。できる準備といえば、早くから気象情報や道路情報をチェックして、かなり時間に余裕を持つ心構えをすることでしょうか。筆者は、2年前の大雪のときは、凍結した道路を運転するのが怖かったので、いつもより早く起き、路線バスで出かけました。案の定、橋の上や坂道はのろのろ運転で大渋滞。でもバスの運転手さんはプロですから、安心して乗っていることができ、時間通りに出勤することができました。歩くためにはスニーカーやスノーブーツなどの「滑らない」靴と、リュックなどの背負う鞄。車のときはあまり身に着けない厚手のコートや手袋も装着すべきです。スキーをやったことがある人は、ゲレンデまでの移動の経験を思い出しましょう。





地震、風水害、大雪。自然災害のどれをとっても、人間はなすすべもない場合があります。でも、情報を集め、最適な方法を選択し、できる限りの対処をしたいですね。